

各 位

2024 年 11 月 29 日

株式会社三井住友銀行

株式会社ミライト・ワンに「ESG/SDGs 推進分析シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留朗裕）は、株式会社ミライト・ワン（代表取締役社長：中山 俊樹）に対し、「ESG/SDGs 推進分析シンジケーション」を実施いたしました。

「ESG/SDGs 推進分析シンジケーション」は、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）と株式会社三井住友銀行が作成した基準に基づき、企業の ESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、その趣旨に賛同頂いた金融機関によって組成されるシンジケート・ローンとなります。

今回の株式会社ミライト・ワンに対する評価結果は、「環境マネジメント」、「気候変動への対応」、「顧客に対する誠実さ」、「サステナビリティ・マネジメント」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において、優れた ESG 側面の取組や情報開示を実施されており、また、事業を通じた SDGs への貢献意欲が高いとの判断になりました。

特に、ESG 及び SDGs 達成に向けた取組では、以下の内容が高く評価されました。

E：温室効果ガス排出量削減率や産業廃棄物最終処分率等の非財務目標を「中期経営計画 2022-2026」で示し、事業活動を通じて地球環境問題の解決に意欲的に取り組む姿勢を明確にしていること。また、「グリーンエネルギー事業の拡大」を重要な成長戦略の一つに据え、自治体 PPA や産業用蓄電所、系統連系線関連事業を全社的に推進していること。

S：「人間中心経営」を掲げ、人財育成に向けた取り組みや、働きやすい職場環境を整備する健康経営の取り組み、ダイバーシティ推進や働き方改革を加速していること。また、街づくり・里づくり事業を今後の成長分野である「みらいドメイン」として位置づけ、地方創生に資する事業を積極的に推進していること。

G：グループのパーパスやミッション、事業ビジョン「MIRAIT ONE Group Vision 2030」において、サステナビリティやコンプライアンスを重視する姿勢や、「ESG 経営基盤強化」を掲げており、より豊かな未来社会の実現に貢献することで、社会的責任を果たす姿勢を一貫して示していること。

SDGs：「統合報告書 2023」等で、グループの事業活動と SDGs の関連性を示しており、本業を通じた SDGs 貢献への具体的な取り組みとして、グリーンエネルギー事業等を実施し（インプット）、その普及（アウトプット）を通じて、脱炭素社会に資するエネルギーインフラの整備を実現（アウトカム）し、SDGs が示す「目標 7（エネルギーをみんなにそしてクリーンに）」に貢献していること。

株式会社三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会および市場の形成に一層貢献を行ってまいります。

<株式会社ミライト・ワンの ESG/SDGs への取り組み事例>

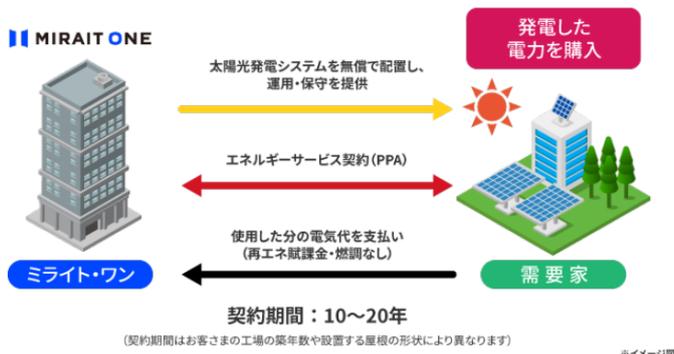
Environment

グリーン発電所建設・PPA 事業 (売電事業)

参照先 URL (<https://www.mirait-one.com/corporate/business/green-energy/>)

「グリーン発電事業」では、グリーン発電所建設・販売事業、PPA 事業 (売電事業)、自家消費等を進めています。

発電設備の施工・運用・保守に加え、2021 年度からは本格的に発電事業に取り組み、自らが発電事業者となって再生可能エネルギーを提供しています。



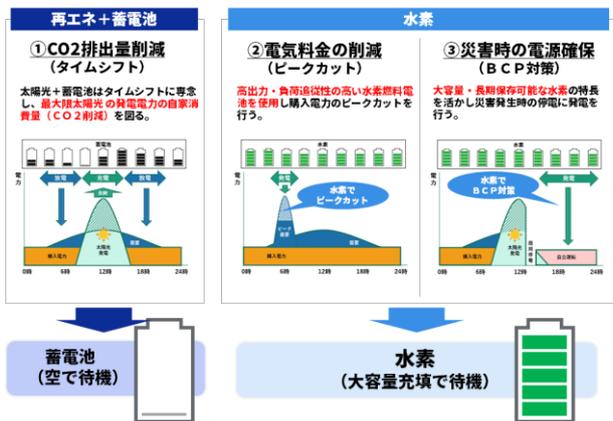
福島県で「水素を活用した未来のまちづくり」の社会実装に参加

参照先 URL (<https://www.mirait-one.com/casestudy/20240122-00.html>)

2022 年 7 月より福島県での「水素を活用した未来のまちづくり」の社会実装に参加。

2023 年 9 月より福島県相馬市において定置式発電機と太陽光発電、蓄電池によるオフィス、店舗の CO2 削減、BCP 対策を目指した実証設備を構築致しました。

本実証を通じノウハウを蓄積、再エネ導入拡大に向けて、太陽光・蓄電池・水素・EV 充電を組み合わせた社会実装モデルを提案し、カーボンニュートラル社会の実現と災害に強いまちづくりに向け積極的に全国で水素関連設備の構築・運用を進めてまいります。



「ゴルフ場に先進的なグリーンソリューションを導入」

参照先 URL (https://www.mirait-one.com/assets/pdf/esg_jp/report-2024.pdf)

脱炭素/カーボンニュートラルという大きな社会課題の解決にステークホルダーとともに取り組む当社は、多くの脱炭素プロジェクトにパートナー企業とともに参画しています。2024年3月には、磯子カンツリークラブ（横浜観光土地（株））の駐車場に、しろくま電力（株）、双日（株）とともに建設を進めてきた蓄電池・EV充電スタンド併設型ソーラーカーポートを提供・運転開始しました。

蓄電池とEV充電スタンドが一体となったソーラーカーポートの商用導入は先進的であり、グリーン電源とEVインフラの普及拡大に大きく寄与する社会的価値の高い取り組みとなります。



「脱炭素による企業価値向上と、電気代削減による商業施設のバリューアップに貢献」

参照先 URL (<https://www.mirait-one.com/info/001065.html>)

那須ガーデンアウトレット東側の駐車場全域（優先駐車場スペース含む計 208 台分）に出力 625.4kW、施設棟屋根に 306.4kW の太陽光発電設備を設置しました。

年間約 387.4t の CO2 排出削減を見込んでいます。これらの設備の導入により、再生可能エネルギーを活用して CO2 排出量削減を進め、企業価値の向上を図ると同時に、那須ガーデンアウトレットの年間電気代の削減による同施設のバリューアップにつなげてまいります。



【那須ガーデンアウトレット全景およびソーラーカーポート】

「生態系の保存や環境にやさしい農業への転換等を目指す「米づくり」に賛同」

参照先 URL (https://www.mirait-one.com/assets/pdf/esg_jp/report-2024.pdf)



当社グループは、パートナー会社である（株）村山土建が生態系の保存や環境にやさしい農業への転換、棚田といった耕作放棄地の増加への対応や里山の原風景の保存等を目的に手掛けている「米づくり」に賛同し、継続して農作業の一部をボランティアのグループ社員でお手伝いしています。このプロジェクトで収穫されたお米は「ミライト・ワン米」として当社の株主優待品等で有効に活用し、棚田保全活動の継続的な支援に繋げております

Social

人財育成プラットフォーム「みらいカレッジ」

参照先 URL (<https://rect.mirait-one.com/career/mirai-college.html>)

「人間中心経営」を「MIRAIT ONE Group Vision 2030」及び中期経営計画の重要な柱に据え、このビジョンの実現に向け社員が主体的に学び成長できる環境として、人財育成プラットフォーム「みらいカレッジ」を2022年7月に開学。社員だけでなく、グループ会社やパートナー会社にも積極的に展開しています。「みらいカレッジ」を通じて、社員のリスキリングやスキルアップとキャリア形成を支援し、グループ全体の競争力を高めてまいります。



「内部通報制度の整備」

参照先 URL (<https://www.mirait-one.com/esg/governance/>)



「コンプラ目安箱」

不正、不祥事、不適切会計、横領、贈収賄、談合、汚職などのコンプライアンス違反等を扱う内部通報窓口として社内のリスクを早期に探知し、リスクの低減や違反防止につなげています。

「なんでも相談室」

労働環境や人権（ハラスメントを含む）など様々な相談を扱う窓口として意見・提言に積極的に耳を傾け、問題解決に取り組んでいます。

「外部相談窓口」

弁護士による社外窓口を設置し、社内で相談しづらい場合の対応を行っています。

<ご参考>

※1 ESG とは

ESG とは環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上